

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	美波町地域水産業再生委員会
代表者名	宮本 勝

再生委員会の構成員	伊座利漁業協同組合、阿部漁業協同組合、志和岐漁業協同組合、東由岐漁業協同組合、西由岐漁業協同組合、木岐漁業協同組合、日和佐町漁業協同組合、美波町
オブザーバー	徳島県南部総合県民局

※再生委員会規約及び推進体制のわかる資料を添付すること。

対象となる地域の範囲 及び漁業の種類	<p>美波町木岐地域（木岐漁業協同組合の管内）</p> <p>木岐漁協組合員数 36名（平成27年12月末現在）</p> <p>※以下、着業漁業種類の内訳を示す。（ ）内は着業経営体数を示すが、1経営体で複数の漁業種類を兼業するため、合計値は組合員数と合致しない。</p> <p>漁業種類（平成26年12月末現在）</p> <table> <tr> <td>一本釣漁業</td> <td>：</td> <td>3名（3経営体）</td> </tr> <tr> <td>延縄漁業</td> <td>：</td> <td>2名（1経営体）</td> </tr> <tr> <td>磯建網漁業</td> <td>：</td> <td>20名（17経営体）</td> </tr> <tr> <td>小型定置網漁業</td> <td>：</td> <td>24名（5経営体）</td> </tr> <tr> <td>採貝採藻漁業</td> <td>：</td> <td>19名（19経営体）</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>：</td> <td>2名（2経営体）</td> </tr> </table>	一本釣漁業	：	3名（3経営体）	延縄漁業	：	2名（1経営体）	磯建網漁業	：	20名（17経営体）	小型定置網漁業	：	24名（5経営体）	採貝採藻漁業	：	19名（19経営体）	その他	：	2名（2経営体）
一本釣漁業	：	3名（3経営体）																	
延縄漁業	：	2名（1経営体）																	
磯建網漁業	：	20名（17経営体）																	
小型定置網漁業	：	24名（5経営体）																	
採貝採藻漁業	：	19名（19経営体）																	
その他	：	2名（2経営体）																	

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状

美波町は徳島県の南東部に位置し、平成18年3月31日、日和佐町と由岐町が合併して誕生した。日和佐町と由岐町は「上灘」と呼ばれ、南東は太平洋に望み、暖かい黒潮の良好な漁場を有している。

本プランの対象となる木岐漁協は旧由岐町に位置している。旧由岐町は、海岸線に細長く面して平坦地は少なく、ほとんどが山地であることから、古くから漁業が産業及び地域経済の中心であった。木岐漁協の管内では、採貝採藻や磯建網（イセエビ刺網）等の磯根資源を利用する漁業が基幹となっており、これに定置網漁業（乗組員としての就業も含む）を組み合わせる兼業形態が多い。

木岐漁協管内における近年の生産量は70～80トン程度で、金額は70百万円前後の水準である（図1）。かつては4～5億円の生産金額があったが、平成年代に入ってから減少が顕著になり、現在の水準まで減少した。生産量・金額の減少の背景には、就業者の減少や高齢化の進行による出漁日数の減少等が影響している。

水揚量の減少に伴って漁協の販売事業も変化した。かつては西由岐に立地する共同荷捌き施設を使用してセリや入札で販売していたが、現在は特定の買受業者と相対で販売する形態となっている。漁協の職員数も1名（平成27年12月末現在）となり、現在の規模の経済事業を運営できる最小限度の体制である。

これらに加え、原油価格の変動を背景とした燃油価格・漁業用資材価格の大幅な変動は、生産の変動とともに漁業経営の不安定性を助長する要因となっている。このことが新規参入者の減少につながり、漁業者の減少や高齢化の進行、さらには既存漁業者の生産意欲の低下にもつながっている。組合員数の減少も拍車がかかっており、近い将来には法定組合員数を割り込む水準まで減少することが懸念される状況となっている。

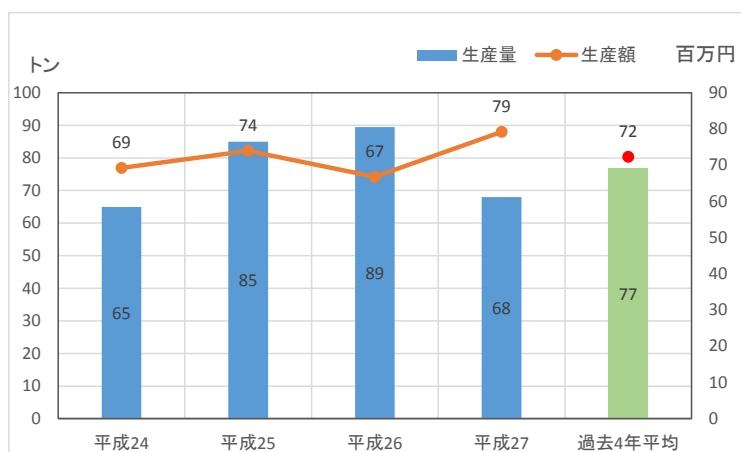


図1 木岐漁協における水揚高の推移

資料：美波町由岐支所

(2) その他の関連する現状等

- 木岐漁協を含む、美波町内7漁協で構成される「海部上灘漁業振興会」では、アワビ稚貝やヒラメ等の種苗放流事業を実施している。

3 活性化の取り組み方針

(1) 基本方針

美波町由岐地区の木岐漁協管内では、漁業者の減少が続き、漁協の組織運営体制も最小規模となっている。本プランの実効性を確保するためにも、まずは施策の担い手となる漁協の組織運営体制の強化が求められる。

また、漁業者にとっては、地先磯根資源による安定的な収入と沿岸漁船漁業の組み合わせによる柔軟で腰の強い漁業経営の実現を目指し、以下にあげる取り組みを実践する。これにより、漁業収入の増大と漁業経費の削減を図り、プラン終了時点での漁業所得 18% 増大を目指す。

なお、次の取り組みの内、1-1、2、3 に関する取り組みは海部郡広域浜プランと連携して推進する。

1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底

木岐地域では、これまでも地先磯根資源の持続的な利用を図るべく、資源管理型漁業をベースとして、種苗放流や漁場環境保全の活動を展開してきた。関係機関との協力の下、これまでの取組を継続して実施する。

1-1 アワビ種苗放流の拡充と資源管理の徹底

1-2 イセエビ資源管理の徹底

2. 周辺漁協との販売事業の連携と高品質な水産物の供給

当地区では、漁協の組織運営体制が最小規模（職員 1 名体制）となっていることから、西由岐、東由岐、志和岐の 3 漁協と連携した産地市場の共同運営（西由岐地域に立地する共同荷捌き所において、4 漁協で取引時間を統一して漁獲物のロットをまとめ、セリ・入札を行う仕組みを構築。アマダイ、レンコダイ、アカムツ、イトヨリ、タチウオ、ヒラメ、タイ類、アオリイカ等の魚種は、サイズ規格を 4 漁協で統一し、選別を徹底する）により、組合員の漁獲物の価格形成力の強化を図る。

また、海部郡の 1 2 漁協による「とくしま海部水産物品質確立協議会」を核として取り組まれている活締めによる高品質化の取り組みを継続、発展させ、ブランド化を推進する。

2-1 産地市場の共同運営への参加

2-2 高品質な水産物の供給

3. 漁業後継者・担い手確保に資する取り組み

若手漁業者の学びの場の創出やその積極的な利用を促進し、将来にわたる地域漁業の維持発展の基盤をつくる。

3-1 若手漁業者の研修等への参加促進

4. 漁業経費の削減に資する取り組み

漁船漁業の主要な経費である燃油の削減を図ることで漁業コストの削減を図るとともに、漁協経済事業の合理化を進め、賦課金負担等の軽減を図る。

4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策

4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入促進

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

漁業調整規則等の公的管理の順守を徹底するとともに、漁業者による自主的な資源管理を推進する。

※プランの取組に関連する漁業調整規則や漁業調整委員会支持等について記載する。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

取組内容については、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ必要に応じて見直すこととする。

1年目（平成29年度）

漁業収入向上のための取組	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 アワビ種苗放流の拡充と資源管理の徹底</p> <p>この取り組みは、木岐漁協が所属する上灘漁業振興会、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。また、木岐漁協の採貝採藻漁業者は、現行の殻長規制（クロアワビ9 cm、メガイアワビ9 cm以上）を遵守して操業する。</p> <p>1-2 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>木岐漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none">①操業日数の自主制限②網数の制限③目標漁獲量の設定による漁獲量制限④漁獲サイズの規制と小型サイズの再放流 <p>2. 周辺漁協との販売事業の連携と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 産地市場の共同運営への参加</p> <p>木岐漁協は、西由岐、東由岐、志和岐の3漁協と連携した産地市場の共同運営について、漁協内での検討を行い、組合員への周知を図る。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給</p> <p>木岐漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締めによる高品質化）の取り組みに継続して参加する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取り組み</p> <p>3-1 若手漁業者の研修等への参加促進</p> <p>木岐漁協は、次代を担う漁業者に、視野を広げる学びの場への参加を促し、技術や知識の向上を図る。</p> <p>以上の取組により、漁業収入を基準年より0.2%向上させる。</p>
--------------	---

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 漁業経費の削減に資する取り組み</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策</p> <p>漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年1回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進</p> <p>木岐漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高騰時の漁業経費の増大に備える。</p> <p>以上の取組みにより、漁業コストを基準年より4.8%削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、浜の活力再生交付金、(国)新規漁業就業者総合支援事業</p>

2年目（平成30年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 アワビ種苗放流の拡充と資源管理の徹底</p> <p>この取り組みは、木岐漁協が所属する上灘漁業振興会、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。また、木岐漁協の採貝採藻漁業者は、現行の殻長規制（クロアワビ9cm、メガイアワビ9cm以上）を遵守して操業する。</p> <p>1-2 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>木岐漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①操業日数の自主制限 ②網数の制限 ③目標漁獲量の設定による漁獲量制限 ④漁獲サイズの規制と小型サイズの再放流 <p>2. 周辺漁協との販売事業の連携と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 産地市場の共同運営への参加</p> <p>木岐漁協は、漁協内での検討結果と組合員合意に基づき、西由岐、東由岐、志和岐の3漁協に対し、産地市場の共同運営への参加を打診し、3漁協とともに具体的な運営方法（取引時間、魚種ごとのサイズ選別規格、荷姿、決済方法・決済期間等）を検討する。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給</p> <p>木岐漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締めによる高品</p>
---------------------	---

	<p>質化) の取り組みに継続して参加する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取り組み</p> <p>3-1 若手漁業者の研修等への参加促進</p> <p>木岐漁協は、次代を担う漁業者に、視野を広げる学びの場への参加を促し、技術や知識の向上を図る。</p> <p>以上の取り組みにより、漁業収入を基準年より 0.5% 向上させる。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>4. 漁業経費の削減に資する取り組み</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策</p> <p>漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年 1 回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進</p> <p>木岐漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高騰時の漁業経費の増大に備える。</p> <p>以上の取り組みにより、漁業コストを基準年より 4.8% 削減する。</p>
活用する支援措置等	(国) 漁業経営セーフティネット構築事業、(国) 競争力強化型機器等導入対策事業、(国) 資源管理・漁業経営安定対策事業、浜の活力再生交付金、(国) 新規漁業就業者総合支援事業

3 年目 (平成 31 年度)

漁業収入向上のための取組	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 アワビ種苗放流の拡充と資源管理の徹底</p> <p>この取り組みは、木岐漁協が所属する上灘漁業振興会、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。また、木岐漁協の採貝採藻漁業者は、現行の殻長規制 (クロアワビ 9 cm、メガイアワビ 9 cm 以上) を遵守して操業する。</p> <p>1-2 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>木岐漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <p>① 操業日数の自主制限</p> <p>② 網数の制限</p> <p>③ 目標漁獲量の設定による漁獲量制限</p> <p>④ 漁獲サイズの規制と小型サイズの再放流</p>
--------------	--

	<p>2. 周辺漁協との販売事業の連携と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 産地市場の共同運営への参加 木岐漁協は、3漁協とともに行った検討結果に基づいて、産地市場の共同運営を試行する。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給 木岐漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締めによる高品質化）の取り組みに継続して参加する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取り組み</p> <p>3-1 若手漁業者の研修等への参加促進 木岐漁協は、次代を担う漁業者に、視野を広げる学びの場への参加を促し、技術や知識の向上を図る。</p> <p>以上の取組みにより、漁業収入を基準年より1.5%向上させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 漁業経費の削減に資する取り組み</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策 漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年1回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進 木岐漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高騰時の漁業経費の増大に備える。</p> <p>以上の取組みにより、漁業コストを基準年より4.8%削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、浜の活力再生交付金、(国)新規漁業就業者総合支援事業</p>

4年目（平成32年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 アワビ種苗放流の拡充と資源管理の徹底 この取り組みは、木岐漁協が所属する上灘漁業振興会、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。また、木岐漁協の採貝採藻漁業者は、現行の殻長規制（クロアワビ9cm、メガイアワビ9cm以上）を遵守して操業する。</p> <p>1-3 イセエビ資源管理の徹底</p>
----------------------------	--

	<p>木岐漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①操業日数の自主制限 ②網数の制限 ③目標漁獲量の設定による漁獲量制限 ④漁獲サイズの規制と小型サイズの再放流 <p>2. 周辺漁協との販売事業の連携と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 産地市場の共同運営への参加</p> <p>木岐漁協は、3漁協との連携で産地市場の共同運営を試行しながら、実施過程で生じる問題点・課題を分析して解決策を講じ、本格実施に備える。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給</p> <p>木岐漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締めによる高品質化）の取り組みに継続して参加する。また、磯建網漁業者や延縄漁業者も参加し、イセエビやノドグロ（アカムツ）など、消費者ニーズが見込まれる製品の統一出荷を拡大する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取り組み</p> <p>3-1 若手漁業者の研修等への参加促進</p> <p>木岐漁協は、次代を担う漁業者に、視野を広げる学びの場への参加を促し、技術や知識の向上を図る。</p> <p>以上の取組みにより、漁業収入を基準年より4.5%向上させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 漁業経費の削減に資する取り組み</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策</p> <p>漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年1回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進</p> <p>木岐漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高騰時の漁業経費の増大に備える。</p> <p>以上の取組みにより、漁業コストを基準年より4.8%削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、浜の活力再生交付金、(国)新規漁業就業者総合支援事業</p>

5年目（平成33年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 アワビ種苗放流の拡充と資源管理の徹底</p> <p>この取り組みは、木岐漁協が所属する上灘漁業振興会、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。また、木岐漁協の採貝採藻漁業者は、現行の殻長規制（クロアワビ9cm、メガイアワビ9cm以上）を遵守して操業する。</p> <p>1-2 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>木岐漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①操業日数の自主制限 ②網数の制限 ③目標漁獲量の設定による漁獲量制限 ④漁獲サイズの規制と小型サイズの再放流 <p>2. 周辺漁協との販売事業の連携と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 産地市場の共同運営への参加</p> <p>木岐漁協は、3漁協との連携で産地市場の共同運営を本格実施する。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給</p> <p>木岐漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締めによる高品質化）の取り組みを継続して参加する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取り組み</p> <p>3-1 若手漁業者の研修等への参加促進</p> <p>木岐漁協は、次代を担う漁業者に、視野を広げる学びの場への参加を促し、技術や知識の向上を図る。</p> <p>以上の取組により、漁業収入を基準年より7.0%向上させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 漁業経費の削減に資する取り組み</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策</p> <p>漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年1回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進</p> <p>木岐漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高騰時の漁業経費の増大に備える。</p>

	以上の取組みにより、漁業コストを基準年より4.8%削減する。
活用する支援措置等	(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、浜の活力再生交付金、(国)新規漁業就業者総合支援事業

(4) 関係機関との連携

- ①県と町、漁業協同組合等の連携のもと、当プランにおける取組と類似した産地市場や経済事業の統合事例、漁獲物の付加価値向上等の先進事例について研修する機会を設ける。
- ②木岐漁協の経済事業の再編については、周辺漁協との協議と緊密な連携の下で行うものとする。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上	%以上	基準年	平成	年度	漁業所得	千円
		目標年	平成	年度	漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名と想定される内容

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関連性
資源管理・漁業経営安定対策事業	資源管理の実施、漁業経営の安定化
浜の活力再生交付金	鮮度保持施設等の整備およびブランド化の提唱
水産多面的機能発揮対策事業	
新規漁業就業者総合支援事業	新規就業者、担い手の長期研修等の実施
漁業経営セーフティネット構築事業	燃油高騰対策
未定	付加価値向上、産地直送等の新規流通経路の開拓